

## 理事長挨拶



令和3年2回目の緊急事態宣言発令の中、6年目を迎えるクローバーヴィラ（以下ヴィラ）のあり方・取り組みについて述べさせていただきます。

介護老人保健施設であるヴィラは開設以来その本来の役割である「病院と家庭を橋渡しする場所」の定義を文字通り着実に実践しております。「リハビリセンター」の名のもとにリハビリには最大限に注力しています。常勤医師配置、看護師24時間常駐の強みを生かして、ACP（人生会議）に基づいた終末期への積極的な取り組みやお看取りの要望にも対応しております。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大収束が見込めない中、ご利用者様、ご家族様には多大なご心配、ご不便をおかけしております。高齢者施設で何より怖いのはクラスター発生です。厚労省指針による感染対策は当然ですが、スタッフ、新規ご利用者様への随時抗原・PCR検査は必ず行っております。ただ、ショートステイと併設デイケアご利用者様には利用制限をかけさせて頂いておりますことお詫び申し上げます。

この体制を今しばらく維持させて頂くことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

令和3年1月  
理事長 篠原裕希